

フェイスシールド 修学旅行の児童に

石川樹脂工業（加賀市）は14日、修学旅行で同市を訪れた愛知県碧南市鷺塚小の6年生と教員ら114人に自社製のフェイスシールドを贈った。加賀市山中温泉の宿泊先で受け取った児童は早速、フェイスシールドを着けて石川県内を巡り、笑顔を示かせた。

石川章会長兼社長がコロナ禍でも遠方から足を運んだ児童を歓迎し、安心して思い出をつくってほしいと考え、山中温泉の旅館「すゞや今日楼（こんいちろう）」の貸し切りプラン「一

加賀の石川樹脂工業

校一館」を利用した一行に贈呈した。

児童は思わぬ贈り物に歓声を上げ、鷺塚小の杉浦昌平教諭（35）は「旅先で感染予防グッズがもらえるとは思わなかった。児童の表情もよく分かるのでありがたい」と感謝した。

石川さんは自宅を構える山中温泉菅谷町など3町の住民に対し、マスクの中に入れば息苦しさを解消できるという新製品のマスクフレームを810個贈った。高齢者から「マスク姿で会話がしにくい」との声が上がっていたことに応えた。



贈られたフェイスシールド姿でミーティングに臨む児童
＝加賀市山中温泉の旅館